

施策名「迎賓施設の適切な管理・運営」

解決すべき
問題・課題

迎賓館の魅力を外内に発信することにより、迎賓施設としての意義及び文化財としての価値の理解を促進することを目的として、接遇等に支障のない範囲で可能な限り通年で一般公開を実施。今後も参観者の満足度を高め、継続できるよう一般公開の魅力の向上に取り組むことが必要。また、新型コロナウイルス感染拡大による参観者数の大幅な減少が課題であるとともに、アンケート結果からリピーターの獲得が課題。

事業の概要

(アクティビティ)

日本の外交に資するため、迎賓館において海外の賓客に対し接遇を行う。

【インプット】※1
接遇費用：0.5億円

「観光先進国」の実現に資するため、接遇等に支障のない範囲で可能な限り、通年で一般公開を実施する。

迎賓館を歴史的建造物、文化施設等で、特別感や地域特性を演出できる会場（ユニークベニュー）として活用する「特別開館」を実施する。

【インプット】※1
参観費用：8.8億円

【参考】
施設維持管理等
：11.4億円

活動実績

(アウトプット)

海外の賓客に対する接遇の実施

【参考指標】
賓客の接遇に際して、施設の使用ニーズに対応できた割合

・参観者数の増加 ※2
・外国人参観者数の増加※2
・リピーターの増加

【参考指標】
・一般公開における1日当たり参観者数の平均
・外国人参観者数
・2回以上参観したことのあ
る参観者の割合

特別開館の実施

【参考指標】
特別開館の実施件数

中目標

(アウトカム)

賓客が安全・快適な施設に満足する

【測定指標】
接遇中に発生した不具合等の件数

参観者が迎賓館の価値を理解する

【測定指標】
・一般公開における参観者のうち、アンケートで「やや不満、不満」と答えた人の割合
・参観等を通じて、迎賓館の迎賓施設としての意義及び迎賓館赤坂離宮の文化財としての価値、京都迎賓館が有する伝統技能等の価値を感じることができた参観者等の割合

迎賓館赤坂離宮・京都迎賓館に対する関心の向上

【参考指標】
・迎賓館赤坂離宮及び京都迎賓館のHP閲覧数
・特別開館HPの閲覧数

施策目標

(インパクト)

国として国際儀礼を尽くし、最高のおもてなしを行い、日本の外交に資するものとする。

迎賓館の一般公開等を通じて、我が国及び迎賓館の魅力を外内に発信することにより、迎賓施設としての意義及び迎賓館赤坂離宮の文化財としての価値、京都迎賓館が有する伝統技能等の価値についての理解を促進する。

※1インプットの内容は令和4年度のもの

※2オーバーツーリズム等の観点を踏まえ、一般公開における適切な参観者数については、引き続き検討